





全てのアンケートで、4 + 3 (肯定的な意見) の割合が80%以上なら、だいたい満足のいく結果と言うことができる。

◎成果

- 最も高い数値となったのが「確かな学力の育成(分かりやすい授業)」であり、児童では92.0%・保護者92.%となった。学校生活で最も時間を費やしている授業について、教職員が日々教材研究を行い、工夫を重ねながら丁寧に分かりやすい授業を行った成果だと言える。
- 保護者アンケートで最も高い数値だったのが、中間同様「家庭・地域との連携(さくら連絡網等活用の情報発信)」で98.2%となった。学校だよりや時間割の学年通信などをホームページに掲載、様々な行事案内や出欠をとる際にさくら連絡網を活用したことで、このような高い数値になったと考えられる。
- 「家庭・地域との連携(出張授業・体験学習)」も高い数値(保護者97.6%)となっていて、外部講師を活用した授業(オンラインも含む)をたくさん行い、通信等で情報発信しているためにこのような結果になった。
- 「安全・安心な学校づくり(楽しい学校生活)(安全安心な場所)」も高い数値(【楽しい学校生活】児童91.4%、【安全安心な場所】保護者95.8%)となっていて、子供も保護者も期待して登校し、満足して下校していることが分かる。
- 「豊かな心の育成(子供との相談)」も90%近くの高い数値となっていて、何か困ったことや相談があったときに、すぐに相談できる状況であることが分かる。また、いじめアンケート後に時間をとって、児童一人一人と教育相談を行っていることも保護者に浸透し、高い数値となった。

◎課題・次年度に向けて

- 「健やかな体の育成(体を動かして遊び)」は、児童のみ66.2%と80%を超えることができなかった。冬期間になり寒いこともあって、中休みや昼休みにタブレットを使っている人がいて、静かに読書している人もいるのでこのような結果になった。
- 「確かな学力の育成(タブレット活用)」は、児童のみ79.6%と80%を超えることができなかったが、中間と比較すると、1年生は特にタブレットを活用した授業も行うようになり改善が見られた。中・高学年では、児童の要望が強く満足のいく活用ではなかったと厳しく評価したことも考えられる。活用としては、他校と比較しても大いに活用した授業が見られる。
- 「健やかな体の育成(早寝・早起き・朝ごはん)」は、教職員66.7%となった。ご家庭での働き掛けが主と考えるために、教職員の数値が低くなった。
- 「豊かな心の育成(挨拶・返事・温かい言葉)」は、保護者・教職員にとって最も低い数値となった。保護者72.0%、教職員66.7%となった。保護者や教職員は、これまでの美園小の様子を知っていて、それと比較すると、きちんとできていないと危惧しているのではないかと。今後も子供たちからの取組も含めて改善を図っていく。